



2018年12月号 No.51

発行所

NPO法人 おいなんよ

長野県飯田市桜町 1-9-1

Tel 0265 (23) 1803

Fax 0265 (48) 5803

[oinanyo-15@bz04.plala.or.jp](mailto:oinanyo-15@bz04.plala.or.jp)

【URL】 <http://oinanyo.net/>

## 今年も最終月

気が付くと“師走”となっており、今年もドタバタとすぎて行きます。しかし、夜の時間が長くなり考える時間が与えられ、このままの活動で私たちは良いのか私自身を振り返ってみました。

子どもの頃『ヒトの命は、地球よりも重い』と聞かされ、「そんなの嘘っぱちだ」と大人になっても思っていました。しかし、十数年の「おいなんよ」の活動からそうではないという考え方に変わることが出来ました。今は、どう生きるのかによって命の重さは変わってくると考える様になりました。今は、地震・風水害・殺伐とした世情……。それでも乗り越えて行く為に、改めて、様々な人が、老いも若きも、共に生き抜くことを決意しなくてはいけない時期に来たと感じます。皆が生き抜く為に必要とされる「おいなんよ」に成長したいと祈念します。来年はその為に更に「おいなんよ」の理念を柔軟に理解し実行します。皆様、来年もご指導宜しくお祈りします。

理事長 佐藤 敏子

## まつお交流会 H30.9.15

こぢんまりと交流会が開かれました  
来年はもう少し参加者が増えますようにとお願い  
です。地域の保健福祉の方が見えて大変嬉しく  
思いました。家庭的な小規模の宅老所を少しでも  
理解頂けたのではと思っています。



## おおせぎ別家交流会 H30.10.2

今年の4月引っ越ししてから初めての交流会が伊賀良公民館で行われました。ご家族の出席は少なく残念でしたが和気あいあいと楽しい交流会で有りました。ご利用者さまはビデオで流れた柿むき、大根もみ、洗濯干し、ピクニックに歓声を挙げながら「あれはわしだなあ」と指差しながら確認。映像が次から次へと……。いつの年に為っても楽しく会話をする大切さを感じました。最後は、“ふるさと”に振付しながら大合唱で終わりました。



三人官女の  
末っ子です



こんなに大  
きくなりました！



しっかり者の  
わたしです

## 子育てボランティア の皆さんです



人気者の  
ぼくです



恥ずかしがり屋  
のわたしです。

来年は  
お姉ちゃんに  
なります



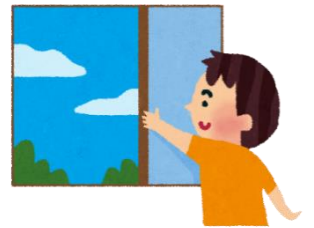
来年は  
保育園です



甘えん坊？  
しっかり者です



インフルエンザの時期です。  
手洗い、うがい励行しましょう！  
換気、部屋の空気を入れ替えしよう！！



## 福祉体験学習 ～中学生がやってきた～

飯田東中学校、飯田西中学校、竜峡中学校、緑ヶ丘中学校の生徒さんが「宅老所まつお」「宅老所おせぎ別家」「サライト三日市場」「サライト松島」「さくらまち」の5事業所に大勢来てくれました。福祉体験で爽やかな風を吹かせて下さいました。

お礼のお手紙と体験報告書を観る中、観察力と文章力は職員より優れて感心しました。人生の先輩であるご利用者さんには、尊厳の心を持ってお話をしている姿は尊いものが有りました。私たちの仕事を少しでも理解して戴くことが次の世代を担う一つになればこんな嬉しいことは有りません。

先生方も各宅老所へお越し頂き丁寧なご挨拶を戴いたようです。職員は“感心しました”と報告が有りました。来年も生徒さんのお越しをお待ちしています。 職員一同感謝！！

**編集後記** 世界に広がる日本人の人生観を本にした「IKIGAI」が欧州で大人気だそう。著者はスペイン人。人生に意義や満足、倖せをもたらす内容に、ヨーロッパのまとまらない不穏な社会が日本の小さな島国から見つけた言葉「IKIGAI」が一人歩きした話である。「EKIDEN」「TENPURA」「MOTUTAINAI」「NINJYA」と挙げれば切りがない日本の言葉が世界で歩いている。 ちよっとつまらない日本社会に嬉しい話である。 (百)



ボランティア  
募集中

